

◆ 考えよう、自分にできること

“一年の計は元旦にあり”

「物事は初めが大事で、しかもしっかりした計画のもとに着実に行うべき」とすることわざです。年の初めの過ごし方が、その一年を左右するという意味合いから、新しい年を迎える日に一年間の目標を立てる人も多くいるでしょう。その目標の一つに「人権意識を高める」ことを加えてみてはどうですか。

唐突にそんなことを言われても、どうすればいいのか分からないという人は、例えば、テーマを決めて、深掘りしてみてもいいでしょうか。もちろん、自分自身の興味や関心を優先し、テーマを決めることがベストですが、迷ったときは「女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権、障害のある人の人権、部落差別問題」などの法務省が定めている「啓発活動強調事項（17項目）」を参考にすることをおすすめします。自分自身や周囲の人に関連する項目が見つかるかもしれません。

そして、選んだテーマをさらに深掘りするには、そのテーマにあった書籍を読んだり、インターネットで調べたりすることも手段の一つです。ただし、書籍によっては内容が難しく、理解しにくかったり、最新の情報ではなかったりする場合があります。インターネットは、手軽に最新の情報にアクセスできる反面、調べた情報の中に悪意や偏見が混ざったものが潜んでいる可能性があります。こういったリスクを避けたい人は、人権に関連する講演会や研修会に参加するという方法もあります。悩み苦しんだ経験を持つ当事者やその人たちに寄り添う支援者の「生の声」を聴くことが、理解を深めるきっかけになるはずです。近年は、会場まで行かなくてもオンラインで参加できるものも増えています。

その他にも人権に対する理解を深める方法はたくさんあります。自分自身に合った方法を見つけて実行していけば、実りある一年になるのではないのでしょうか。